

臨床腫瘍セミナー

平成25年4月16日(火) 18時~19時

福島県立医科大学 11号館(臨床講義棟) 第二臨床講義室

「抗がん剤投与における安全管理

北海道大学病院

医療安全管理部 准教授

～事例を中心に～

南須原 康行 先生

【講演内容】

医療事故において、処方・与薬に関するものは、ほぼすべての医療機関で最も大きな割合を占め、全医療事故の3割から4割を占めるとされている。中でも、抗がん剤については事故が起きると、薬剤そのものが有する組織障害性・臓器障害性の強さから、患者さんに多大な健康被害、時には死に至らしめる可能性もあり、その扱いは他の薬剤よりも慎重にならざるをえない。本セミナーでは、講演者の医療機関で発生した抗がん剤投与に関する医療事故事例を複数紹介する。貴施設における抗がん剤の安全投与に少しでもお役に立てれば幸いである。

【講師紹介】

1988年に北海道大学医学部を卒業。第一内科(呼吸器内科)に入局。1996年から1999年に英国インペリアル大学医学部附属国立心肺研究所に留学。帰国後、北海道大学病院第一内科助手、同講師を経て2008年より北海道大学病院医療安全管理部准教授・副部長。2013年4月より同部長。

◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。

◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。

◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。

〈次回開催のお知らせ〉

平成25年5月21日(火)

18時~19時

太田西ノ内病院 成田 雅先生

「感染症診療のキホン

臨床腫瘍学との接点」